

農薬危害防止運動について

令和5年6月1日～8月31日まで「農薬危害防止運動」として、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を農水省が推進するものです。



土壤燻蒸消毒をするときは、フィルムで被覆する事が義務づけられています。

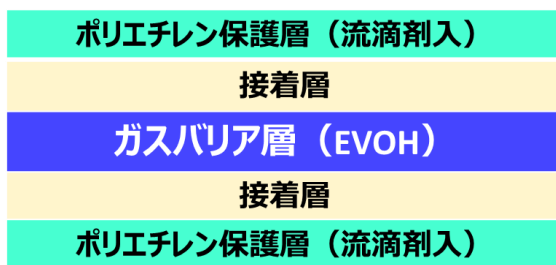
穴のあいた古いフィルムや薄いフィルムは燻蒸ガスが漏洩して薬剤効果が低下する恐れがあります。また漏れた燻蒸ガスが周辺へ飛散の恐れがあります。土壤消毒には燻蒸ガスを透さない土壤消毒専用フィルムを使用する事をお勧めします。

弊社が販売する土壤消毒専用フィルム「バリアースターV」は土壤燻蒸ガスを漏らさない高いバリア性能を有したフィルムです。

バリアスターVの特長

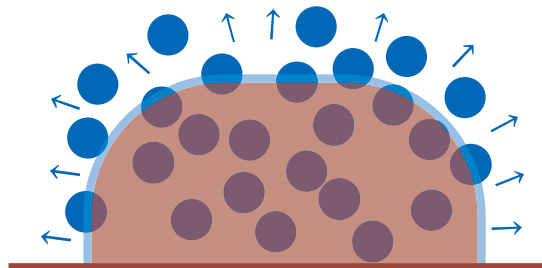
バリアスターVには、酸素を透しにくい高いバリア性の樹脂を使用しています。これは、マヨネーズや味噌容器などの食品容器に広く使用されています。この高いバリア性能によって燻蒸ガスがフィルムの外に漏れるのを防ぎます。バリア性樹脂をポリエチレン樹脂で両側から挟んだ構造となっています。

☆バリアスターV(5層)の断面図



☆(畝に被覆した時の漏れのイメージ図)

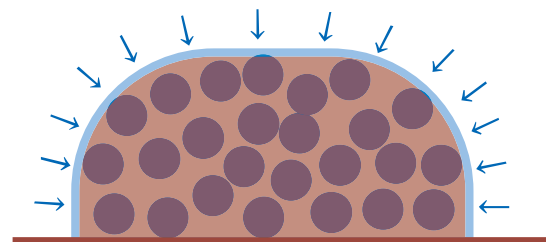
● 薬剤(クロルピクリン・ダゾメット)



農POor農ビ



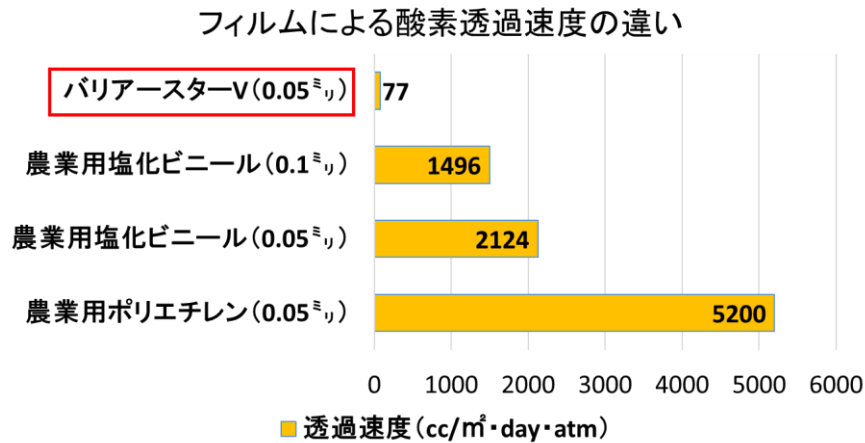
もれてる!



バリアスターV

もれにくい!

一般的なフィルムでは樹脂密度が低いためフィルムを透して燻蒸ガスが抜けることがわかっています。



ガスバリアー性能が高い「バリアースターV」を使用すると・・・

- ① 土壌燻蒸剤の漏洩・飛散防止効果（使用生産者への被ばく防止・周辺民家への飛散防止）
- ② 薬剤効果が安定する事が期待できます。
- ③ 農薬の過剰使用量を抑制することが期待できます。
- ④ 農薬使用量の低減効果が期待できます。※

※低減効果については、すでに各研究機関で実証データがありますが、弊社が使用量の低減を薦めるものではありません。

バリアースターV の導入コストを気にする生産者は多いですが、適性使用量での薬剤効果安定による作物の損失収量回避や健康被害回避、環境負荷低減などを総合的に判断すれば充分導入するメリットがあります。また、農林水産省がすすめる「みどりの食料システム戦略」の「化学農薬の使用量低減」に寄与できる製品であると考えます。